※令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令和５年度　工業科（工業デザイン系）

教科	工業	科目	工業デザイン実習Ａ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

Ｄ２実習Ａは、ＣＧではコンピュータ・ラスタ系アプリケーション（イラストレーター）も慣れ親しみ、自ら将来どのような作品づくりに応用できるかを考える態度が大切です。イラストレーターの基礎的な知識と技能を学ぶ。イラストレーター技能検定問題集をもとに、授業を進める。単元ごとに練習問題を行った後に、テストを行う。

２　学習の到達目標

ＣＧデザインを学習する。
ＣＧではラスタ系アプリケーション（イラストレーター）の概念を理解して様々なツールの使い方を理解する。イラトトレータ技能検定のスタンダードレベルの技能を習得する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ＣＧデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解するとともに、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用できる能力を身につけている。	ＣＧデザインに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、創造的なイメージを表現できる能力を身に付けている。	ＣＧデザインに関する実践的な態度を身に付け、問題に対して関心を持つとともに、考察を深め、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	イラストレーターの導入	・ラスタ系アプリケーション(イラストレーター)の概念 ・レイヤーの概念と演習 ・イラストレーターの基本操作	a:ラスタ系アプリケーションの概念について関連に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 c: レイヤーの概念と演習、切抜きツールの種類と演習によって基礎的・基本的な技術を身に付けるとともに、各過程において合理的に計画することができている。 デザイングラフィックが現代社会に果たす意義や役割を理解している。	テスト	プリント課題	観察 振り返りシート
	ベジェ曲線	・ベジェ曲線	a:ベジェ曲線の概念であるアンカーポイント、方向線を理解し、ペンツールの使い方を演習する。 c:意欲的に取り組んでいるか。提出期限内に完成できているか。	テスト	プリント課題	観察 振り返りシート
二学期	イラレパズル	・切抜きツールの種類と演習 ・パスファインダー、整列、回転、リフレクトなどの演習	b:ツールを使いこなすことによって作業効率に与える影響を見い出し、自ら問題解決に向けて条件設定する能力が身に付いている c:意欲的に取り組んでいるか。提出期限内に完成できているか。	テスト	プリント課題	観察 振り返りシート
	実践課題	・地図、オリンピックのピクトグラム、防犯ピクトグラム、家紋作品の評価と成果表現	b:ツールを使いこなすことによって作業効率に与える影響を見い出し、自ら問題解決に向けて条件設定する能力が身に付いている c:意欲的に取り組んでいるか。提出期限内に完成できているか。	レポート	レポート	観察 振り返りシート
三学期	検定対策	・イラストレータークリエイタ能力認定試験１部問題対策	b:ツールを使いこなすことによって作業効率に与える影響を見い出し、自ら問題解決に向けて条件設定する能力が身に付いている c:意欲的に取り組んでいるか。提出期限内に完成できているか。	テスト	プリント課題	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令和５年度　工業科（工業デザイン系）

教科	工業	科目	工業デザイン実習Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

Ｄ２実習Ｂは、ＣＧではコンピュータ・ベクタ系アプリケーション(フォトショップ)も慣れ親しみ、自ら将来どのような作品づくりに応用できるかを考える態度が大切です。ユニバーサルデザイン（防災・減災・パーソナルモビリティ）では既成のデザインの調査・研究を行いその考察に基づいてコンセプトを立て、自ら提案する姿勢を確立することが大切です。作品制作にあたっては技術・技法等の基礎を身に付けようとする姿勢で取り組み、専門に関する座学で学んだことを活用して学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

２　学習の到達目標

ＣＧとユニバーサルザインの２つの分野を総合的に学習する。
ＣＧではベクタ系アプリケーション(フォトショップ)の概念を理解して様々なツールの使い方を理解する。ユニバーサルデザインでは防災・減災・パーソナルモビリティをモチーフにコンセプトを立ててデザインする。プレゼンテーションボードの作成を通じて、自らデザインした作品を提案する技術も習得する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ＣＧとユニバーサルデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における環境デザインの意義や役割を理解している。環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	ＣＧとユニバーサルデザインに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	ＣＧとユニバーサルデザインに関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	UDの基礎知識	・ユニバーサルデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付ける ・グループワークでのアイデア創出 ・アイデアスケッチ	a:UD の基礎知識を身に着けているか b:UD の基礎知識をもとに防災などで必要なものが考えられているかアイデアスケッチなど c:グループワークでの取り組みにおいて自身の役割をこなしているか	テストプレゼンテーション発表	プリント課題	観察 振り返りシート
	デッサン	・デッサンに必要な画材の準備・扱い方について ・基本的な形を描く ・明暗をとらえて濃淡で表現する ・プリント課題	a: 品物の形・明暗のとらえ方、表現の仕方について、基礎的・基本的な知識を身につけている b: 品物の形・明暗のとらえ方、表現の仕方について課題を見出し、解決する力を身に付けている c: 品物の形・明暗のとらえ方、表現の仕方について、自ら主体的に取り組む態度を身につけている	レポート課題	作品	観察 振り返りシート
2学期	UDの実践課題	・図面の描き方 ・模型の作り方	a:図面が正しく描くことが出来ているか、ヒートカッターを使用し模型が図面通り作れているか b:コンセプト内容、コンセプトの立て方が正しく出来ているか c:発表までの作業過程を理解して自ら計画を立て制作できているか	テストプレゼンテーション発表	プリント課題	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	フォトショップの練習	・各種ツールについて、説明・演習 ・プリント課題 ・選択範囲 ・画像の修正・変形・合成 ・フィルター ・色調補正　など	a:　ベクタ系アプリケーション(フォトショップ)の使い方に関する基礎的・基本的な知識を理解している。 b:　ベクタ系アプリケーション(フォトショップ)の使い方に関する課題に取り組み、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなどして解決する力を身に付けている c:　ベクタ系アプリケーション(フォトショップ)の使い方に関する課題に自ら主体的に取り組む態度を身につけている	レポート 課題 テスト	作品	観察 振り返りシート
3学期	UDのプレゼンテーション	・レンダリング ・レイアウト ・最終発表	a:他者に理解されやすいプレゼンテーションボードに仕上がっているか b:コピックによる陰影表現が出来ているか c:発表までの作業過程を理解して自ら計画を立て制作できているか	テスト プレゼンテーション発表	プリント 課題	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	CDジャケットの制作	・CD ジャケットの制作、プレゼンテーション	a： CD ジャケットを魅力的に表現して第三者にプレゼンテーションできるように、ベクタ系アプリケーション(フォトショップの使い方)に関して、これまで学習してきたデザインの知識や技能を発展させて作品を制作しプレゼンテーションする技術を身に付けている b： CD ジャケットを魅力的に表現して第三者にプレゼンテーションできるように、ベクタ系アプリケーション(フォトショップ)の使い方に関して、これまで学習してきたデザインの知識や技能を発展させて作品を制作しプレゼンテーションするための解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現する力を身につけている c： CD ジャケットを魅力的に表現して第三者にプレゼンテーションできるように、ベクタ系アプリケーション(フォトショップ)の使い方に関して、これまで学習してきたデザインの知識や技能を発展させて作品を制作しプレゼンテーションする方法を自ら学び、主体的に取り組む態度を身に付けている	レポート 課題	作品 プレゼンテーション	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令和５年度　工業科（工業デザイン系）

教科	工業	科目	工業デザイン実習Ｃ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

前半はトレース技能検定２・３級を受験、合格を目指す。理論と実技の両方を学ばせる。
後半は平面構成と立体構成とする。
平面構成はポスタリゼーション技法を用いて人物のイラストレーションの制作。
立体構成はデザイナーズチェアーのミニチュア模型の作製

２　学習の到達目標

前半は課題提出量と精度と授業態度、合格基準に達しているかどうかを評価する。
後半平面構成は課題難易度と精度と授業態度を評価する。
後半立体構成は精度と授業態度を評価し、自身のスケジュール管理が出来るように目標を設定。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	前半:トレース技能検定･資格取得を目標とし､JISによる機械製図の知識を深めるとともに、他の人が理解できる美しい図面が作成できる技術を身につけている。 後半:絵具の特質を理解し、人物を通して伝えたいことを効果的に表現できる技術を身につけている。またサ椅子の図面を読み取り、サイズダウンした図面通りの模型を製作できる技術を身につけている。	前半：JIS の通則を理解し、最も効率的で美しいトレースを仕上げるための道具の使用方法や制作手順を考え判断する能力を身につけている。 後半：配色や構図などを通して、人物を通して伝えたい事を効果的に表現できる能力を身につけている。また椅子の図面を正確に読み取る能力や、色彩を加味することで、伝えたい内容を表現できる能力を身につけている。	前半：トレース技能検定・資格取得を目標とし、図面の機能を理解した上で、時間内に、粘り強くあきらめずに完成度の高いトレースを制作しようとしている。 後半：自分が表現したい内容が伝わるために、考察を深め、他の人の作品も鑑賞することで、評価・改善しようとしている。また模型の制作を通して、製作途中に生じる問題に対して、解決・改善しようと試みる。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	トレース技能検定	道具の使い方 曲線と矢印 ４級４９回 ４級４８回 ３級４９回 ３級４８回	a：三角定規、コンパス、円定規、ロットリングペンなど扱いかたが正しくなされているか。線の分類、図面の記号が理解できているか。 b：効率的に作業できているか。線の使い分け、図面の綺麗さ。 c：集中力を保ち資格取得に意欲的に取り組んでいるか。提出期限内に完成できているか。	プリント 課題	テスト	観察 振り返りシート
	トレース技能検定	３級４７回 ３級４６回 ２級４９回	a：三角定規、コンパス、円定規、ロットリングペンなど扱いかたが正しくなされているか。線の分類、図面の記号が理解できているか。 b：効率的に作業できているか。線の使い分け、図面の綺麗さ。 c：集中力を保ち資格取得に意欲的に取り組んでいるか。提出期限内に完成できているか。	プリント 課題	テスト	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	トレース技能検定	模擬テスト ３級４５回 ３級４４回 ３級４３回	a：三角定規、コンパス、円定規、ロットリングペンなど扱いかたが正しくなされているか。線の分類、図面の記号が理解できているか。 b：効率的に作業できているか。線の使い分け、図面の綺麗さ。 c：集中力を保ち資格取得に意欲的に取り組んでいるか。提出期限内に完成できているか。	プリント課題	テスト	観察 振り返りシート
	平面構成・立体構成	・平面構成はポップアート手法を用いてキャラクターイラストレーションの作製。 ・立体構成はデザイナーズチェアーのミニチュア模型の作製	a：下書き、下塗りから丁寧に作業されているか。本塗り作業が丁寧になされているか。 b：効率的に作業できているか。色の使い分け３階調化、三原色などの理解ができているか。 c：集中力を保ち意欲的に取り組んでいるか。提出期限内に完成できているか。	画材の性質をふまえた制作技法	明度表の色彩・色別	観察 コンセプトシート
３学期	平面構成・立体構成	・平面構成はポップアート手法を用いてキャラクターイラストレーションの作製。 ・立体構成はデザイナーズチェアーのミニチュア模型の作製	a：下書き、下塗りから丁寧に作業されているか。本塗り作業が丁寧になされているか。 b：効率的に作業できているか。色の使い分け３階調化、三原色などの理解ができているか。 c：集中力を保ち意欲的に取り組んでいるか。提出期限内に完成できているか。	画材の性質をふまえた制作技法	明度表の色彩・色別	観察 コンセプトシート

※令和４年度以降入学生用

	平面構成・立体構成	・平面構成はポップアート手法を用いてキャラクターイラストレーションの作製。 ・立体構成はデザイナーズチェアーのミニチュア模型の作製	a: 下書き、下塗りから丁寧に作業されているか。本塗り作業が丁寧になされているか。 b: 効率的に作業できているか。色の使い分け３階調化、三原色などの理解ができているか。 c: 集中力を保ち意欲的に取り組んでいるか。提出期限内に完成できているか。	画材の性質をふまえた制作技法	明度表の色彩・色別	観察 コンセプトシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度